

平成 21 年第 3 四半期(7～9 月)国内概況

<平成 21 年第 3 四半期 (7～9 月) >

- ◆実質国内総生産(季節調整済み、2000 年基準)は前期比 1.2%増加となり、2 期連続の増加となった。鉱工業生産指数(季節調整済み、2005 年基準)は、前期比 7.4%上昇と 2 期連続の上昇となった。国内企業物価指数は前期比で横ばいとなった。消費者物価指数は同 0.3%低下となった。
- ◆一次エネルギー総供給は、対前年同期比で 11.2%減となった。石炭は 5.4%減、石油合計は 15.2%減、LNG は 6.9%減、原子力は前年同期並み、水力は 5.4%増となった。
- ◆電灯電力需要は 10 電力会社の販売電力量合計で前年同期比 8.1%減少した。発電電力量は 8.4%の減少となった。燃料消費は、それぞれ石炭が 6.9%、原油が 65.4%、重油が 52.0%、LNG が 6.2%の減少となった。
- ◆燃料油販売は、前年同期比 3.6%減となった。原油処理量は 8.4%減、原油輸入量は 16.7%減、燃料油輸入は 2.5%減、燃料油輸出は 7.5%減となった。
- ◆都市ガス販売量は、前年同期比 7.0%減となった。用途別では、家庭用は 1.6%増、商業用は 6.7%減、工業用は 10.3%減となった。